

令和7年度

事業計画書

札幌市拓寿園

令和7年度札幌市拓寿園事業計画書

基本方針	法人理念「共生」に基づいて、入居者の個々の生活が尊重され、安心して快適且つ自立した生活を営むことができるよう支援する。入居者の要望等を適切に把握すると共に、きめ細やかな身体的・精神的サポートを実施していく。また、地域との交流を深め福祉ニーズを把握し、公益的な取り組みを検討していく。
重点目標	1【処遇】 ・当園や地域の行事などに多くの入居者に参加してもらい、主体性のある生活が送れるよう努める。 ・心身機能に低下が見られる入居者については、個別に福祉制度や介護保険サービス利用のための情報提供や助言に力を入れ、活力ある自主的な生活が営めるよう努める。 ・年1回入居者アンケートを行う。 ・入居者の個別処遇計画に基づいた処遇を心掛け、より豊かな施設生活を継続できるよう努める。 ・入居者の運動機能の向上を図るとともに認知予防に力を入れた活動を行う。 ・他の施設とカラオケなどを開催し積極的に交流をはかる。 ・「生活学」と題して集団生活上の必要な知識を学ぶためのセミナーを開催する。 2【健康管理】 ・入居者の定期健康診断を年2回行い、医療機関との連携を密にし医療情報の把握・収集に努める。 ・病気の予防や体力の維持を図るため、パンフレットの配布や全体懇談会で随時啓発を行う。 ・食中毒及び感染症対策や事故防止、虐待防止についての委員会を運営し、その発生の予防に努める。 ・体力の維持、向上と運動機能や認知機能の改善を目的とした事業を毎週実施する。 ・リフレッシュや運動不足解消を目的に、「健康歩こう会」を夏季に実施し健康増進に努める。 ・毎日体調確認をするため居室訪問する。 3【防災】 ・入居者の防災意識を高める為、火災・地震を想定した訓練を実施すると共に、入居者の身体状況及び職員体制等の条件の中で、防災専門家の助言を受けるなど一層の工夫を講じる。また、居室点検（漏電・ガス）を実施し、リスクの早期発見に努める。 ・防災設備等の老朽化や交換時期等を勘案し、随時交換・修理を図る。また万一に備え、水、非常食等の防災用品を備蓄する。 ・防災用品を用い、年1回使用方法の確認を行い災害に備える。 職員側で非常用電源・ホース・消火器の扱い訓練 入居者側のランタン・ストーブ・非常食について等の学習 4【地域との関わり】 ・地域行事への参加及び近隣の学校との交流を積極的に推進し、住民、生徒との親睦を深め施設に対する理解を広める。（運営協議会の開催1回/年） ・施設間の交流を図る行事に参加する。 ・児童会館との交流を継続し、地域に根差した老人ホームを目指す。 5【設備管理】 ・築50年を経過し、建物・備品に関しての老朽化状況や有効期限の確認を行い、都度の判断のもと、然るべき対処を実施する。
主要行事	【季節行事】・お花見、果物狩りツアー（秋）、夏祭り、敬老祝賀会、クリスマス・忘年会（ビンゴ大会）、節分（豆まき）、ひな祭り 【定例行事】誕生日祝い、きらく会交流会、他施設との交流会、児童会館との交流会 【クラブ】カラオケクラブ（月1回） 【その他】健康診断（年2回）、防災訓練（年3回）、介護予防教室（隔週）、健康歩こう会（夏季）、ふまねっと運動（隔週）、買い物ツアー（月1回）、薬湯風呂、食事会（行事食以外月）
研修会等	・基本方針実現のため、内部研修及び外部研修への積極的な参加を図る。 ・同種他施設との交流行事や研究会等を通して、処遇技術等の向上を図る。 ・時代の変化に対応する技術や知識の習得に努める。
数値目標	1 入居者数については単身者38名、夫婦1組2名の合計40名、稼働率80%を目標とする。 2【入居率向上の為の方策】 ・地区センターなどに施設パンフレットの掲示協力をいただく。 ・近隣連合町内会会報誌へ入居案内を掲載する。 ・ホームページを活用し、空室情報等を発信し施設PRを積極的に行う。 ・法人内各施設、他法人施設、関係機関等との情報交換を密に行う。 ・地区センターにおいて月に一回介護相談を実施し、地域の方へPRを兼ねて地域貢献を行う。

令和7年度

収支計画書

札幌市拓寿園

収入

令和7年度 予算書

科 目		予算額	前年度予算額	増△減額	摘 要 (精算内訳)
〔 経 常 活 動 に よ る 収 入 〕					
老人福祉 事業収入		37,095	37,103	△ 8	
	運 営 事 業 収 入	37,095	37,103	△ 8	
		その他の 事業収入	37,095	37,103	△ 8
寄付金収入		0	0	0	
	寄 付 金 収 入	0	0	0	
繰入金収入		0	0	0	
	特 別 会 計 繰 入 金	0	0	0	
	本 部 会 計 繰 入 金	0	0	0	
		本部会計 繰 入 金	0	0	0
		前 年 度 繰 越 金	0	0	0
その他の 収 入		9	10	△ 1	
	雑 収 入	9	10	△ 1	
		その他の 雑 収 入	9	10	△ 1
収入合計		37,104	37,113	△ 9	

支出No.1

科	目	予算額	前年度予算額	差引増△減額	摘要 (精算内訳)
〔 経 常 活 動 に よ る 支 出 〕					
人件費支出		16,003	15,804	199	
	職員給料支出	10,735	10,590	145	
	本 俸	9,198	9,243	△ 45	
	役 務 手 当	180	180	0	
	業 務 手 当	84	84	0	
	調 整 手 当	0	0	0	
	住 居 手 当	96	96	0	
	扶 養 手 当	192	192	0	
	介護業務手当	260	164	96	
	寒冷地手当	157	157	0	
	通 勤 手 当	448	299	149	
	時 間 外 休 日	120	175	△ 55	
	職員賞与支出	2,711	2,678	33	
	夏季冬季手当	2,711	2,678	33	
	賃 金	0	0	0	
	嘱 託 医 料	0	0	0	
	退職給付支出	320	296	24	
	退職共済掛金	320	296	24	
	法定福利費支出	2,237	2,240	△ 3	
	社 会 保 険 事業主負担金	2,052	2,052	0	
	労 働 保 険 事業主負担金	185	188	△ 3	
	人 件 費 計	16,003	15,804	199	

支出No.2

科 目			予算額	前年度予算額	差引増△減額	摘 要 (精算内訳)
事務費支出			13,603	12,783	820	
	福利厚生費支出		58	61	△ 3	
	職員被服費支出		4	0	4	
	旅費交通費支出		10	10	0	
	研修研究費支出		60	60	0	
		研修研究費支出	60	60	0	
	事務消耗品費支出		620	620	0	
		消耗品費支出	120	120	0	
		器具什器費支出	500	500	0	
	印刷製本費支出		0	8	△ 8	
	水道光熱水費支出		977	789	188	
		電気料支出	650	450	200	
		水道料支出	322	335	△ 13	
		ガス料支出	4	4	0	
	燃料費支出		340	375	△ 35	
		車両燃料費支出	70	60	10	
		その他燃料費支出	270	315	△ 45	
	修繕費支出		1,800	1,800	0	
		管理用修繕費支出	1,800	1,800	0	
	通信運搬費支出		375	360	15	
	広報費支出		4	0	4	
	業務委託費支出		7,563	6,760	803	
		清掃委託費支出	1,200	1,120	80	
		その他委託費支出	6,363	5,640	723	
	手数料料支出		120	120	0	
	保険料支出		177	200	△ 23	
	貸借料支出		287	286	1	
	租税公課支出		45	45	0	
	保守料支出		1,042	1,180	△ 138	
	諸会費支出		82	79	3	
	雑支出		40	30	10	
	事務費計		13,603	12,783	820	

支出No.3

(単位：千円)

科 目			予算額	前年度予算額	差引増△減額	摘 要 (精算内訳)
事業費支出			7,002	7,540	△ 538	
	医薬品費支出		65	200	△ 135	
	保健衛生費支出		1,032	935	97	
	教養娯楽費支出		1,460	1,360	100	
		教養娯楽費支出	1,460	1,360	100	
		福祉費支出	0	0	0	
	水道光熱費支出		1,555	1,505	50	
		電気料支出	355	305	50	
		水道料支出	1,200	1,200	0	
		ガス料支出	0	0	0	
	燃料費支出		2,430	3,080	△ 650	
		車両燃料費支出	0	0	0	
		その他燃料費支出	2,430	3,080	△ 650	
	消耗器具備品費支出		460	460	0	
		その他消耗品費支出	360	360	0	
		器具什器費支出	100	100	0	
	雑支出		0	0	0	
固定資産取得支出			350	700	△ 350	
	建築物取得支出		350	700	△ 350	
	構築物取得支出		0	0	0	
	器具及び備品取得支出		0	0	0	
ファイナンスリース債務の返済支出			0	0	0	
	ファイナンスリース債務の返済支出		0	0	0	
拠点区分間繰入金支出			146	285	△ 139	
	拠点区分間繰入金支払		146	285	△ 139	
支 出 合 計			37,104	37,113	△ 9	